No.87
2020.3月1日発行

Think deeply, act fast!

アステラス・アムジェン・バイオファーマ㈱
研究開発本部　メディカルアフェアーズ部
プロジェクトマネージャー

武藤　友美子 氏(高校48期)

1996年3月　東京都立立川高等学校卒業
2000年3月　東京薬科大学生命科学部分子生命科学科卒業
2011年1月　University of California, San Diego 皮膚科学教室
役職：Research Associate
2014年7月　株式会社CLINICAL STUDY SUPPORT　入社
2015年8月　サノフィ株式会社 入社　希少疾患領域メディカルサイエンスリエゾン
2018年6月　エーザイ株式会社 入社　メディカル本部
2019年8月　アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社 入社
研究開発本部　メディカルアフェアーズ部　プロジェクトマネージャー（現在に至る）

立高生の皆さん、こんにちは！
高校生活を楽しみながらも、将来の進路のことも考え始めていると思います。
当時の私は…漠然と薬に関わる仕事への夢がありながらも、模範学生とは言い難いものでした。高校の標語である「自主自律」の意味を少し取り違えていたようであり…ただ、笑いあり汗あり涙ありの忙しくも楽しく学生生活が、今の自分のパワーの根源となっているわけですが…。そんな中でも理系の血を分けてくださったのが化学の大町先生でした。生徒の間で有名な先生で、一見怖そうですがやさしく人間味あふれる科学者でした。課題である化学レポートの作成は時間を忘れ熱中し、図書館では事典を何度もめくりました。考察部分では自分なりに可能性なども考えて作成しました。思えばこれは、「科学」というすべての答えが出ていない世界で、自ら探求し学びを得ることの原点でした。

進路ですが、当時は比較的新しい分野であった遺伝子・バイオテクノロジーの学科に進むこととなりました。授業や実習で可能性ある領域を知る度にわくわくしたのを覚えています。特に4年時にはラボで卒業論文に向けて実験の日々に加え、就職活動（研究開発を希望するも学位がなく”残念”続きで、最終的に塩野義製薬の営業職に決定）をする忙しい毎日でしたが、思えばこの間、研究のアイディアを思いつきポスドク研究員とディスカッションをする、実験を失敗して改善方法を検討する、の繰り返し経験は、後に米国の大学にて研究員として働くのに非常に効果的なエクササイズでした。
就職活動の際にも「学位なしは研究職NGです」と言われたように、研究者ビザを取り米国留学するには学位が必要です。私はボランティアとしてラボワークを開始しました。研究員になれないのなら、グラント（研究費）を少しでも手に入れることができれば、チャンスはあるかもしれないと考え、教授の研究のお手伝いの傍ら、ラボの会議に参加し関係あるトピックの論文を調べ、まず可能性あるストーリーを構築しました。大学での資格も得て、細胞と動物実験を何度も実施、検証しまとめ、先に作ったストーリーにあてはめて提出したところ、小さいものですが、研究費を入手することができました。こうしてビザも取り直し、正式に研究員として採用されることになりました。3人子供がおり忙しかったのですが、女性が働くことへの理解もあり、子供たちにとってもあの時期に海外生活を経験できたことは良かったと思います。

留学の研究で取り扱ったテーマやターゲット物質については、帰国後に企業で働き、疾患領域の違うところでも何度か話題に繋がり重宝したことがありました。科学は常に進歩しますから、チャンスを逃さぬよう、常にアンテナを張って情報収集することに努めました。

製薬会社勤務・海外での研究留学を経て、現在は製薬会社のメディカルアフェアーズで、疾患啓発活動やエビデンス創出を担うチームのプロジェクト/予算管理や、社内で使用されるマテリアルレビューの業務にあたっております。会社内では他に研究・開発・コマーシャル（主にマーケットや営業）の部署がありますが、外部顧客のみならず、会社内コラボレーションに寄与できることは大変働き甲斐を感じています。本年春から社名が変わり、本社オフィスも新設され、働く環境が大きく変わりますが、「サイエンスをベースに、患者さんに貢献する」という強い思いは変わりません。偶然なのですが、立高卒の大先輩（高他さん）が上司です。ご縁を感じますね。

大腸がん検診啓発イベントにて家族と

とりとめのない話となりましたが、最後に若い皆さんにエールを。
失敗を恐れないでください。やりたいことはどんどんチャレンジしてください。妄想でも願望でも人を納得させられるほどのストーリーで自分の夢を語れるくらい打ち込んでみてください。また、勉強ももちろん大事ですが、伸び盛りのこの時期に強い体と心を培ってください。自らを大事にすることは素晴らしいことですが、それ以上に、人を大事にする—相手の考えや人生を尊重できる人間になることはいかなるフェーズでも大切なことです。たくさんの人と対話し、影響を受けられると良いですね。
若い皆さんの人生が楽しく、よき出会いとともに実り多きものになりますように、心から応援しております！